

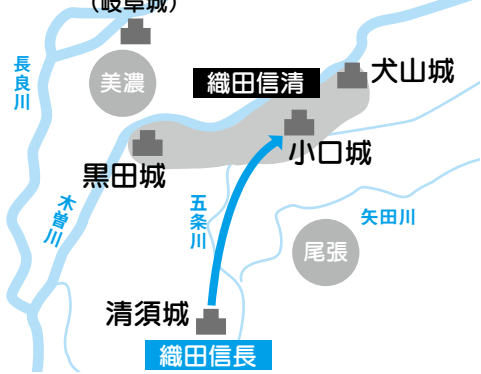
現在の地図と小口城



小口城は、1459（長祿3）年に織田広近によって築城され、別名「箭筈城」ともいわれています。城のまわりに土塁をめぐらし、見事な二重の堀は「小牧・長久手の戦い」の際、小口山城の方向に作られ、強固な城でした。

10年後、広近は木之下城（犬山市）を築城します。小口城と木之下城をあわせて、美濃の勢力に対抗しながら尾張北部を治めていました。その後、小口城の近くの妙徳寺に「万好軒」と呼ばれる隠居の庵をつくり余生を送ります。

信長の小口城攻め地図



永祿年間（1558～1569）、小口城主は犬山城主（織田信清）の家老にあたる中嶋豊後守となりました。信清は織田信長の従兄弟でしたが、領土問題で清須城主・信長と対立していました。

信長は、尾張を統一する過程で小口城を攻めましたが、小口城はなかなかの堅壁で信長は兵を退きました。そこで信長は小口山城を築城し、小口城を威圧。中嶋豊後守は信長の家臣丹羽長秀の説得に応じ、信長に投降しました。その後、犬山城が落城、小口城も廃城となりました。

信長の小口攻め

五条川堤に桜の植樹始まる	織田信長による尾張統一 小牧・長久手の戦い	小口山城築城
昭和 11年 (1936)	天正 12年 (1584)	永祿年間 (1558)
昭和 13年 (1938)	大正 4年 (1915)	~ (1569)
昭和 16年 (1941)	明治 22年 (1889)	護の子(に手紙を書き、争いを鎮める)
昭和 22年 (1947)	明治 39年 (1906)	信長の小口攻め「小口城主・中嶋豊後守(犬山城家老)」
昭和 27年 (1952)	大正 40年 (1907)	この戦いで信長の家臣、岩室長門守、戦死
昭和 34年 (1959)	大正 40年 (1907)	小口城の勢力、信長側に投降(小口城が廃城)
昭和 37年 (1962)	天正 12年 (1584)	秀吉方の砦として再利用
昭和 40年 (1965)	昭和 11年 (1936)	
昭和 41年 (1966)	昭和 13年 (1938)	
昭和 49年 (1974)	昭和 16年 (1941)	
昭和 51年 (1976)	昭和 22年 (1947)	
昭和 54年 (1979)	昭和 27年 (1952)	
昭和 62年 (1987)	昭和 34年 (1959)	
平成 2年 (1990)	昭和 37年 (1962)	
平成 10年 (1998)	昭和 40年 (1965)	
平成 11年 (1999)	昭和 41年 (1966)	
平成 17年 (2005)	昭和 49年 (1974)	
平成 22年 (2010)	昭和 51年 (1976)	
令和元年 (2019)	昭和 54年 (1979)	
	昭和 55年 (1980)	
	昭和 59年 (1984)	
	昭和 62年 (1987)	
	昭和 64年 (1989)	
	昭和 65年 (1990)	
	昭和 66年 (1991)	
	昭和 67年 (1992)	
	昭和 68年 (1993)	
	昭和 69年 (1994)	
	昭和 70年 (1995)	
	昭和 71年 (1996)	
	昭和 72年 (1997)	
	昭和 73年 (1998)	
	昭和 74年 (1999)	
	昭和 75年 (2000)	
	昭和 76年 (2001)	
	昭和 77年 (2002)	
	昭和 78年 (2003)	
	昭和 79年 (2004)	
	昭和 80年 (2005)	
	昭和 81年 (2006)	
	昭和 82年 (2007)	
	昭和 83年 (2008)	
	昭和 84年 (2009)	
	昭和 85年 (2010)	
	昭和 86年 (2011)	
	昭和 87年 (2012)	
	昭和 88年 (2013)	
	昭和 89年 (2014)	
	昭和 90年 (2015)	
	昭和 91年 (2016)	
	昭和 92年 (2017)	
	昭和 93年 (2018)	
	昭和 94年 (2019)	
	昭和 95年 (2020)	
	昭和 96年 (2021)	
	昭和 97年 (2022)	
	昭和 98年 (2023)	
	昭和 99年 (2024)	
	昭和 100年 (2025)	

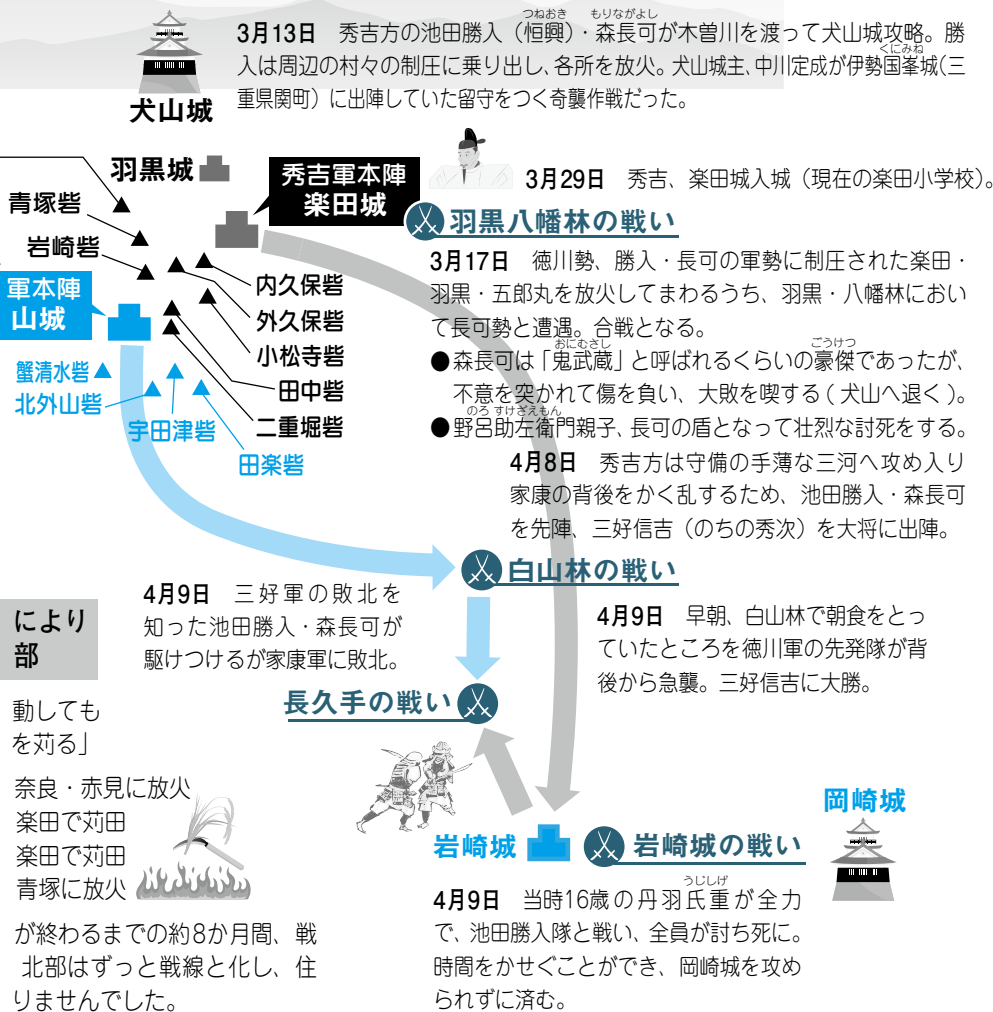
多世代が集う憩い広場

旧大口北小学校

鉄筋と木造校舎 昭和48年(1973)

航空写真 昭和30年代後半

小牧長久手の戦い合戦図



今年の大河ドラマ（NHK）は「ど
うする家康」。戦国武将・徳川家康の
一生を描いた作品でした。第32回「小
牧長久手の激闘」では「小牧・長久
手の戦い」で、秀吉と家康が天下を
二分した最大の戦いが描かれました。

小牧・長久手の戦い

1584（天正12）年3月から11
月にかけて、織田信雄の領国である
尾張・伊勢を中心に、羽柴秀吉と織
田信雄・徳川家康連合軍が総力戦を
展開しました。
広範囲に複数の戦いがおこなわれ、
多くの城（大名・領主）も巻き込み、
全国的に影響をおよぼした大規模戦
争であるため「天下分け目の戦い」
と評価されています。
この戦いで小口城は、一時的では
ありますが秀吉軍の砦として重要な
役割を果たします。

により部

動しても
を切る」
奈良・赤見に放火
楽田で苅田
楽田で苅田
青塚に放火
が終わるまでの約8か月間、戦
北部はずっと戦線と化し、住
りませんでした。

小牧長久手の戦い

発端

そのとき
小口城は？

3月6日 伊勢国長島城において、織田信雄が重臣3名（岡田重孝・津川義冬・浅井田宮丸）を、秀吉に通じていたという理由で殺害。
↓家康方・秀吉方ともに尾張・伊勢を中心に兵力を差し向ける。
3月13日 秀吉方の池田勝入（恒興）・森長可が大山城攻略。各所を放火。
↓当初伊勢が主戦場になると踏んでいた両陣営は、これを契機に犬山方面へ急行。
3月17日 【羽黒合戦】（秀吉方）勝入・長可×（徳川方）酒井忠次など↓酒井勢が大勝をおさめる。
秀吉、楽田城入城。この前後に家康・信雄も小牧山城入城。↓両陣営ともに「陣地」を構える。
3月29日 小口城、秀吉方の砦として再利用。
秀吉、小口に禁制を出す。

長久手合戦

そのとき
小口城は？

4月8日 秀吉方は守備の手薄な三河へ攻め入り家康の背後をかく乱するため、池田勝入・森長可を先陣、三好信吉（のちの秀次）を大将に出陣。
4月9日 未明、家康も密かに出陣。朝には信吉に大勝し、その報を受けた勝入・長可は引き返そうとしたところ、家康勢とぶつかる。
↓勝入・長可等、主だった武将が相次ぎ戦死。秀吉も長久手方面へ進軍するが引き返す。
秀吉、墨俣の他、木曾川沿いの城を普請。
4月12日 ↓尾張・美濃国境地帯に布陣を展開させることに。5月初めには岐阜城に入る。
5月2日 秀吉、小口より南西方面は稲葉良通（一鉄）に任せ。

尾張西部の戦い

5月7日 秀吉、信雄方の加賀野井城（現在の岐阜県羽島市）を攻略。
5月10日 秀吉、竹鼻城（現在の岐阜県羽島市）の包囲開始（水攻め）。
6月3日 竹鼻城開城。
6月16日 【蟹江合戦】 信雄方の蟹江城を滝川一益が奪つ。6月12日に清須へ帰陣していた家康は蟹江城へ急行する。

小口城址公園



▲小口城の歴史的な移り変わりや出土品などを紹介する「展示棟」



▲物見櫓の高さは17m。犬山城、岐阜城、清須城などの方向が表示され、当時の眺望を思い描くことができます。



▲平成6年・8年の発掘調査により、戦国時代の小口城の礎石・井戸・野鍛冶炉跡（のかじろあと）が確認され、多数の土器片・鉄片が出土しました。

小口城址公園

大口町城屋敷一丁目261番地

開館日

土・日・祝日のみ

※ 令和5年12月29日から

令和6年1月3日は特別休館日

利用時間

展示室・物見櫓 午前9時から
正午、午後1時から4時30分

※ 入館は午後4時まで



かつて小口城があったと語り継がれ、親しまれてきた「城山」。城の南側には清須城（清須市）に続く五条川が流れ、木之下城（犬山市）を結ぶ街道が通る小口城。廃城になっても、のちに「小牧・長久手の戦い」で皆として利用されていることから、重要な交通

第21回 秋の伝統芸能発表会 (多世代が集う憩い広場)



▲豊田獅子囃子保存会



▲河北木遣保存会



▲中小口伝統芸能保存会



▲上小口伝統芸能保存会

そのとき 小口城は？

秀吉、小口城の堀・柵は大坂へ、兵糧は長島へ移すという指示を出す。

- 11月15日 和議成立
- 11月12日 和議成立に伴い、今回の合戦で新たに構築、もしくは再利用した城の破却。
- 11月9日 家康、清須へ移動。
- 11月5日 秀吉、信雄方の伊勢国長島城へ接近。
- 10月17日 家康、三河へ一旦帰国。美濃方面へ再出陣。
- 10月2日 秀吉上洛。6日に大坂へ戻り、22日に北伊勢へ向けて出陣。
- 9月29日 秀吉、大坂へ戻る。
- 9月27日 家康、清須へ移動。
- 9月18日 秀吉、河田城（現在の一宮市）へ。
- 9月7日 家康、重吉城（現在の一宮市）へ兵を派遣。
- 9月6日 和議と人質の話が浮上するが翌日（9月7日）には決裂。
- 8月29日 家康・信雄、清須から岩倉まで兵を進め、秀吉の来襲に備える。兵は尾張北部の中央に展開する。
- 8月19日 秀吉、尾張国内まで出陣。

和議の成立・終結へ

- 7月29日 秀吉、再び大坂へ戻る。
- 7月17日 家康、兵の数を半数に減らす。
- 7月15日 秀吉、再び大坂まで出陣。
- 7月9日 家康は、一益の伊勢国神戸城を攻略。信雄とともに伊勢進出。
- 7月3日 家康、蟹江城を奪取。
- 6月28日 小牧衆（家康方）が物見の際、小口衆（秀吉方）と戦闘。



小口峯



家康
小牧

3月29日 この前後に家康・信雄も小牧山城入城。→両陣営ともに「陣地」を構える。

4月9日 未明、家康密かに出陣。



小牧・長久手の戦い 戦場と化した尾張北

主戦場が尾張北部から移続いた「火を放つ」 「田

- 8月28日 秀吉、小折
- 9月1日 酒井忠次勢
- 9月5日 酒井忠次勢
- 9月20日 松平家忠

「小牧・長久手の戦い」 闘行為はなくとも尾張民にとって平穏な日はあ

そのとき 小口城は？